

おめでとうございます るようお祈りいたします。



日高町長
三輪茂

新年あけましておめでとうござります。

平成24年の新春を、御家族皆様で健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

昨年3月の東日本大震災、続いて発生した原子力発電所の事故は、我が国に未曾有の被害をもたらしました。日高町としても、町内被災箇所の復旧とともに、東北各県の被災者、被災地の支援、伝統行事「相馬野馬追」で知られる福島県南相馬市からの被災馬受入を実施してまいりました。被災地の一日も早い復興を願っております。

門別競馬場単独開催2年目となりましたホッカイドウ競馬につきましては、関係各位に一丸となつて取組をいたいた結果、馬券発売額が計画比並びに前年比ともに100パーセントを超える結果となりました。また、門別競馬場における発売成績につきましても目標を達成することができ、ファンの方々や町民の皆様にあらためてお礼を申し上げる次第であります。今後におきましても、ホッカイドウ競馬を取り巻く環境は、厳しい状況に変わりはありません。引き

続き、安定的な運営による発展を目指してまいります。

日高地区では、「観る」「体験する」「滞在する」を軸とした日高地区観光再開発ビジョンにより、

キャンプ、ラフティング、渓流釣り、登山やスキーなど、四季を通じての自然体験型観光を推進しています。冬季の中心、日高国際スキー場ではナイター営業や魅力あるイベントの開催に力を注いでいます。ひだか青少年自然の家など関係機関との連携強化を図り、「ひだから」(日高の宝)と命名した地域資源を活用した地域振興や移住体験に積極果敢に取り組んでまいります。

激動する社会情勢にあつて、地方自治体はその望ましい在り方が問われ、個性豊かな地域社会を自らの判断と責任において形成すべきことが求められています。「いきいきと学び、働き、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現を目指してまいりますので、今後とも、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして着実なる発展の年となりますよう心から祈念申し上げ、新年の御挨拶いたします。

新年明けまして 着実なる発展の年とな

日高町議会議長
西尾英俊



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成24年の新春を皆様お揃いで
穏やかに迎えられたことと存じ、
心からお喜び申し上げます。日頃
から議会活動について、格別のご
支援ご協力をいただいております
ことに、日高町議会を代表いたし
まして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、何
といつても国難ともいうべき未曾
有の災害であった東日本大震災、
そしてこれによる福島第一原子力
発電所の事故が思い起されます。
現在も国を挙げて、その対策への
取り組みが続いているが、この
ような大きな困難に直面しながら
も、被災地の方々は結束を保つて
日々の暮らしに対応され、また、全
国の多くの人々からも被災地に
様々な支援が寄せられました。こ
うした日本人の行動は、世界から
「大震災でも自主的に秩序を保つ
日本人」、「人に迷惑をかけない精
神」と称賛されました。昨年の
世相を表す漢字が「絆」となったの
も、何か必然のように思えたもの
です。

こうした困難が続く状況の中で、
新しい年がスタートしましたが、
その他にも、今、我が国は、消費税
や年金などの社会保障の問題をは

じめ、多くの課題を抱えていきます。
これから社会がどのような仕組
みになるのか、大きな方向性が近
いうちに決まる可能性があります。

地方自治体においても依然とし
て続く厳しい財政など、決して良
い状況とはいえませんが、そうし
た中であっても、全国各地で創意
工夫を凝らしながら健全な行政運
営実現のための挑戦が続けられて
います。日高町でも従来から掲げ
ているまちづくりの目標に向けて、
日高町総合振興計画を中心として
様々な取り組みが行われています。
議会といたしましても、活発な
議論を通じて、「地域のことは地域
で決める」という地方自治の原点に
立つて、議員一同、これからも真摯
に活動してまいりたいと存じます。
町民の皆さんには、従来にも増して、
町政や町議会に関心を持つていた
だき、そして、いろいろなご意見を
お寄せいただきながら、共に住み
よいまちづくりの実現に取り組ん
でまいりたいと思いますので、一
層のご理解ご協力をお願ひ申し上
げます。

最後になりましたが、今年一年
が希望ある明るい年でありますよ
う心から祈念申し上げ、新年を迎
えての挨拶といたします。